

阿吽苦離地蔵

八ヶ代の菩提久保にある地蔵様はな、阿吽苦離地蔵とも子育て地蔵とも言って、昔は子供が病気の時は、よく願かけに行ったということですよ。

むかし、あったと。

たまによいかわいい赤ん坊を授かった母親は、お乳が思うようにならなかったと。

母親は、日に日に弱っていくわが子を見て、

「私にお乳さえできれば、この子に辛い思いをさせなくてすむのに。すまねえなあ」

と、いつも泣いていたと。赤ん坊が弱っていくなか、困り果てていた母親に村の一人の老婆がみるにみかねて、こんな話しをしてくれたと。

「この近くの村の、阿吽苦離地蔵はよ、どんな病気も治しまう子育て地蔵様なんだと。

頭と体に病気があつときは、赤ん坊に赤い頭巾・赤いちゃんこ着せてよ、病気治したい子供の名前を書いて、真心こめてお願いすんだと。それがらな、お乳出ねえ母親は、地蔵様のすぐ傍にある菩提樹の皮けずって煎じて飲むとよ、泉のようにお乳が出るようになったと。

気休めかもしれないけど、もしかしたら「利益あつかもしんねえから。行ってみたらどうだい」

早速、藁にもすがる思いで、その母親は赤ん坊をつれて、地蔵様のトコさお祈りに行ったと。

「どうか、この子の病気治してください」

と、お願いをしたと。また、菩提樹にも

「お乳でるためさ、すまねえが皮きらしてもらうで」

と皮を剥がし、煎じて飲み続けたと。

半年ぐれえ経っただろうか、その頃から赤ん坊の体が少しずつよくなって、母親のお乳も、泉ほどじゃねえけんども出るようになったと。

お地蔵様は、きつとお願いした母親の気持ちが清く美しく、一生懸命だったんで、力をかしてくれたんだべな。

昔は参拝者がたくさん来て、草の生えるときがないほどだったそうです。

一方、この地蔵様は、延生の地蔵様の妹だという話もあるそうです。

おしまい